

# 図書館ホームページをご活用ください！

本セミナーで紹介する学術雑誌の評価指標のほか、蔵書検索、電子ジャーナルやデータベース等の便利なツールがあります。

<http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>



**資料の検索**  
蔵書検索、電子ジャーナル、データベースにアクセスできます。

**研究支援**  
学術雑誌の評価指標  
論文投稿の際役立つ、学術雑誌の評価指標のツールを参照できます。

学外からも利用できる**オンライン資料**を案内しています。

**【重要】(6月10日更新)**  
6月16日～新型コロナウイルス対策のための対応について

授業振替日(7/23・7/24・8/10)の  
附属図書館サービス体制について

学外(自宅等)からでも利用できるオンライン資料のご案内  
(7月1日更新)

「情報検索の基礎」をテーマとした動画(全6本)を  
公開しました

オンライン講義支援のため、  
教員選定により電子ブックを購入しました



知りたいことだけサクッと学術情報セミナー@Zoom

# サクッと！ ジャーナル評価入門 1 ジャーナルチェック方法

2020年8月

新潟大学附属図書館

# 本日の内容

1. 粗悪学術誌とはどういうものか？
2. 粗悪学術誌の特徴
3. 新潟大学における粗悪学術誌に  
対する方針
4. ジャーナルチェック方法

# 1. 粗悪学術誌とはどういうものか？

粗悪学術誌（Predatory Journals）とは、論文著者が支払う論文掲載料（Article Processing Charge：APC）について、悪質性の高い掲載料を搾取することを目的とした、査読が不十分な論文を掲載する質の低い、ハゲタカジャーナル、捕食雑誌、フェイクジャーナルなどとも呼ばれる学術誌のこと。

粗悪学術誌への投稿は、科学への国民からの信頼を失いかねない。また、研究者の業績や評価などに悪影響を及ぼす可能性がある。

- 粗悪学術誌ネットで急増・「出版社」が中古車販売（毎日新聞2018.4.3）

「インターネット専用の学術誌の中で、別の研究者による内容のチェック（査読）が不十分な論文を載せる質の低い学術誌が急増している。」

- 粗悪学術誌投稿5000本超（毎日新聞2018.9.3）

九大147本、東大132本、阪大107本、[新潟大102本](#)

中国にある出版社が発行する03年～18年5月末までに掲載された約8万4千本の論文を調査。日本と関係する論文が5076本，筆頭著者が大学・研究機関に所属する論文が3972本あった。

- 粗悪学術誌投稿の准教授「査読素通り」背景に教授圧力（毎日新聞2018.9.14電子版）

16本を投稿した准教授への取材

「内容チェック（査読）は素通りだった」「すぐに論文が載る手軽さから投稿を続けた」「業績作りを急がせる教授の圧力が背景にあった」

- 粗悪学術誌横行 研究者手軽に実績 国と学术界対応鈍く（毎日新聞2018.12.16）

「ずさんな審査で論文をインターネットに掲載し、掲載料を得る粗悪学術誌『ハゲタカジャーナル』がはびこっている。『厳正な審査を通った』という学術論文の前提を覆し、科学研究全体の信頼をおとしめる存在だが、国内からの投稿も多い。横行する背景に、手軽な業績作りを図る研究者の心理が垣間見えるものの、国や学术界の動きは鈍い。」

- 粗悪学術誌で医学博士号 8大学院業績として認定（毎日新聞2018.12.16）

「医学博士論文106本を抽出調査したところ、7.5%に当たる8本にハゲタカ誌への論文掲載が業績として明記されていた。」

- 学術の健全性損なう「ハゲタカジャーナル」（日本経済新聞2019.2.7電子版）

「適切な審査を経ずに論文を掲載し、料金を取るオンライン上の粗悪学術誌が大学界で問題になっている。『ハゲタカジャーナル』と呼ばれ、信頼性を疑問視されているが投稿が後を絶たない。見せかけの研究業績づくりに利用される恐れに加え、後進が参考にしてしまう可能性もある。文部科学省は大学に対策を促した。」

# 文部科学大臣記者会見

「大変、深刻な事態になっていると思います。」

「研究成果として公開する論文の質の担保は、科学の健全な発展に不可欠なものであります。」

「研究者等がどの学術誌に論文を投稿するかは、研究者等の見識に基づいて、自ら主体的に判断するべきものでもあります。粗悪な学術誌への論文投稿が、研究者等の業績や評価などに長期的に見て、かえって悪影響を及ぼす可能性があるというふうにも考えます。まずは大学や学協会等の研究者コミュニティにおいて、研究者等の見識を高める取組、また、論文の投稿先について、是非、慎重に考慮するように注意喚起を行うという取組をしていただきたいというように考えております。」

2018年12月25日 柴山昌彦文部科学大臣の定例記者会見

## 2. 粗悪学術誌（ハゲカタジャーナル） の特徴

厳密な定義はないが、

「適切な査読が行われず、掲載料を払えば論文を掲載できる、  
掲載料搾取目的の粗悪なオープンアクセスジャーナル」

米国国立衛生研究所（NIH）が示す特徴

- 誤解を招く価格設定をしていること（例えば、論文掲載料（APC）に関する透明性が欠如していること）
- 著者に対して情報を開示しないこと
- 積極的に論文投稿を求めてくること（不自然なメール）
- 編集委員会のメンバーについて記述が不正確なこと
- 査読プロセスが誤解を招くもの、または疑わしいものであること



# 粗悪学術誌が生まれる背景

- OA（所謂ゴールドOA）誌の増加
- DOAJ (Directory of Open Access Journals) 15,033誌  
(2020.7.28) ※ 12,907誌 (2019.3.27)
- オープンアクセス論文の割合
  - ✓ 学術雑誌の少なくとも28%がOA論文（総数1,900万件以上）であると推定 ※カレントアウェアネス posted 2018年2月14日
  - ✓ 新潟大学のOA率（WoS）2019年：668/1,474（45.3%）
- 研究業績への圧力（Publish or Perish）

# 粗悪学術誌の問題点

質が悪い

- 論文の質が保証されない
- 引用が低くなる可能性
- 長期的な公開が担保できない可能性
- 出版社が投稿撤回を認めない場合があり、他の雑誌への再投稿ができなくなる恐れがある

(出版社とのトラブル)

- 説明責任が果たせない (公的資金、助成金など)
- 業績がマイナス評価される危険性

社会的  
評価

# 3. 新潟大学における粗悪学術誌に対する方針

(2018年11月16日 学長裁定)

[https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/research/ethics/p\\_submission/](https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/research/ethics/p_submission/)

(前文)

本学の科学者行動規範においては、本学の研究者に社会から寄せられた信頼に応える倫理的責任感を求めており、粗悪学術誌への投稿は、科学への国民からの信頼を失いかねない。また、研究者の業績や評価などに悪影響を及ぼす可能性がある。

このため、今後の学術誌等への投稿については、各研究分野において評価されるジャーナルの文化を尊重しつつ、その財源の公的・私的資金を問わず、以下のとおり取り扱うものとする。

# 新潟大学における粗悪学術雑誌に対する方針

(方針)

- 1.各研究者は粗悪学術誌に投稿しないよう十分に注意するとともに、論文投稿料支払い手続きにおいては、出版社名・ジャーナル名を明記する。なお、投稿しようとする学術誌の是非を判断できない場合には、別添のチェックリスト等を活用し、その判断を行う。
- 2.部局長（コンプライアンス部局責任者）及び研究室主宰者は、研究者・学生の論文投稿の相談に適切に対応するとともに、必要に応じて各所掌において粗悪学術誌に投稿しないことの研究倫理教育を行うものとする。

# チェックリスト

[https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/11/check\\_list.pdf](https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/11/check_list.pdf)

論文投稿ジャーナルチェックリスト

1. ご自身または同僚がそのジャーナルを知っていますか。
2. 出版社を容易に特定し連絡をとることができますか。
3. そのジャーナルがどのような査読を行うかについて明白ですか。
4. 使用されている評価指標は一般的なものですか。
5. 料金設定は明瞭ですか。
6. ジャーナルサイトでは、料金の内容と請求時期について説明されていますか。
7. 編集委員会は設置されていますか。
8. その出版社は、学術出版業界を主導すると広く認められている団体に所属しています。

出版社名	ジャーナル名	
No.	確認内容	チェック欄
1	ご自身または同僚がそのジャーナルを知っていますか。 ・以前にそのジャーナルに投稿された論文を読んだことがありますか。 ・そのジャーナルの最新論文を容易に見つけられますか。 ・Web of Science, Scopus, CNii Articlesに収録されているジャーナルですか。 ・Directory of Open Access Journalsに掲載されているオープンアクセスジャーナルですか。 ( <a href="https://doi.org/">https://doi.org/</a> ) ・所属する学会等で評価されているジャーナルですか。	<input type="checkbox"/>
2	出版社を容易に特定し連絡をとることができますか。 ・ジャーナルのウェブサイトには出版社名が明示されていますか。 ・出版社に電話、電子メール、郵便で連絡することができますか。	<input type="checkbox"/>
3	そのジャーナルがどのような査読を行うかについて明白ですか。	<input type="checkbox"/>
4	使用されている評価指標は一般的なものですか。	<input type="checkbox"/>
5	料金設定は明瞭ですか。	<input type="checkbox"/>
6	ジャーナルサイトでは、料金の内容と請求時期について説明されていますか。	<input type="checkbox"/>
7	編集委員会は設置されていますか。	<input type="checkbox"/>

※"Think. Check. Submit"のcheck list (<http://thinkchecksubmit.org/check/>) を基に作成

# 4.ジャーナルチェック方法

1. Web of Science (Master Journal List)  
[http://mjl.clarivate.com/#journal\\_lists](http://mjl.clarivate.com/#journal_lists)  
Web of Science に採録されていることが、その雑誌が一定の評価を得ているという判断材料の1つになります。
2. Scopus収録誌 (Scopus Preview) <https://www.scopus.com/sources>  
Elsevier社が提供している、学術雑誌の評価ツールです。学術雑誌の影響力を示す指標CiteScoreを参照することができます。  
※新潟大学ではScopusを契約しておりませんが、学術誌に及ぼす影響やScopus収録誌は無料で利用できます。Webで“Scopus”で検索してアクセスできます。
3. DOAJ (Directory of Open Access Journals) <https://doaj.org/>  
厳格な審査基準に基づき、質の高い査読付きオープンアクセス誌をまとめたリストです。
4. PubMed <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>  
PubMed(MEDLINE)への採録自体に明示的な基準が設けられていますので、PubMed (MEDLINE)に採録されていることが、その雑誌が一定の評価を得ているという判断材料の1つになります。

**詳細は図書館HP HOME > 研究支援 > 学術雑誌の評価指標を参照**

[http://www.lib.niigata-u.ac.jp/research\\_support/journal\\_metrics.html](http://www.lib.niigata-u.ac.jp/research_support/journal_metrics.html)

## 5. Committee on Publication Ethics(COPE)

<https://publicationethics.org/members>

学術論文の出版規範に関する活動を行なっている非営利組織のサイトです。メンバーとなっている雑誌や出版社はある程度信頼できると判断できます。

## 6. Think,Check,Submit (チェックリスト)

<https://thinkchecksubmit.org/>

<http://thinkchecksubmit.org/translations/japanese/> (日本語版)

チェックリストを確認することで研究成果に最適なジャーナルを選択することができます。

## 7. Stop predatory journals (ブラックリスト)

<https://predatoryjournals.com/>

アメリカの元大学図書館員Jeffrey Beall氏が個人的に作成したPredatory journalの疑いのあるジャーナルと出版社をまとめたリストです。(2017年2月以降更新なし、あくまでも参考程度に)